

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	産業動物学	担当教員 (実務経験)	前鼻 彰人 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	23	時間数	45時間
授業目的	主な産業動物の種類と家畜としての歴史、役割について学ぶ。				
到達目標	産業動物として用いられる動物種を知り、伴侶動物との違いを理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ6巻 動物行動学／愛玩動物学／比較動物学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度が含まれます。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	畜産学概論 1	畜産とは何か		
	2	畜産学概論 2	産業動物の福祉・農場HACCP		
	3	産業動物 ウシ 1	歴史・品種		
	4	産業動物 ウシ 2	解剖学的特徴		
	5	産業動物 ウシ 3	飼育管理の特徴		
	6	産業動物 ウシ 4	疾病		
	7	産業動物 ブタ 1	歴史・品種		
	8	産業動物 ブタ 2	解剖学的特徴		
	9	産業動物 ブタ 3	飼育管理の特徴		
	10	産業動物 ブタ 4	疾病		
	11	産業動物 ニワトリ 1	歴史・品種		
	12	産業動物 ニワトリ 2	解剖学的特徴・小テスト		
	13	産業動物 ニワトリ 3	飼育管理の特徴		
	14	産業動物 ニワトリ 4	疾病		
15	産業動物 ウマ 1	歴史・品種			

履修主題・履修内容	16	産業動物 ウマ 2	解剖学的特徴
	17	産業動物 ウマ 3	飼育管理の特徴・疾病
	18	産業動物 ヒツジ 1	歴史・品種・解剖学的特徴
	19	産業動物 ヒツジ 2	飼育管理の特徴・疾病
	20	産業動物 ヤギ 1	歴史・品種・解剖学的特徴
	21	産業動物 ヤギ 2	飼育管理の特徴・疾病・小テスト
	22	伝染病 1	法定
	23	伝染病 2	届出
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	動物臨床検査学実習Ⅱ		担当教員 (実務経験)	今木 康彦	
				有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	23	時間数 45時間
授業目的	動物臨床検査学Ⅱで生体検査における検体の種類や目的を理解してきたことをふまえて、各種検体検査を実践しその意義と手技を習得する				
到達目標	適切な検体処理と各検査の意義と手技を理解し、看護実践能力を身につけること				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第3版) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学／動物臨床検査学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	その他: 授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼の検査 1	眼科検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ		
	2	眼の検査 2	眼科検査の手技を身につける		
	3	耳の検査 1	耳の検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ		
	4	耳の検査 2	耳の検査の手技を身につける		
	5	皮膚検査 1	皮膚検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ		
	6	皮膚検査 2	皮膚検査の手技を身につける		
	7	微生物学的検査概要	微生物学的検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ		
	8	微生物学的検査 1	細菌・真菌の培養の意義と手技を身につける		
	9	微生物学的検査 2	細菌同定検査の意義と手技を身につける		
	10	微生物学的検査 3	薬剤感受性検査の意義と手技を身につける		
	11	レントゲン検査概要	レントゲン検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ		
	12	レントゲン検査 1	検査の準備、装置の取り扱い、操作方法を理解する ・ 小テスト		
	13	レントゲン検査 2	検査時のポジショニング、画像の見方を理解するを理解する		
	14	超音波検査概要	超音波検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ		
15	超音波検査 1	検査の準備、装置の取り扱い、操作方法を理解する			

履修主題・履修内容	16	超音波検査 2	検査時のポジショニング、画像の見方を理解する
	17	心電図検査概要	心電図検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ
	18	心電図検査 1	検査の準備、装置の取り扱い、操作方法を理解する
	19	心電図検査 2	検査時のポジショニング、心電図の読み方を理解するを理解する
	20	内視鏡・CT・MRI検査	内視鏡検査、CT検査、MRI検査の目的と意義など基本的な知識を学ぶ
	21	免疫学的検査	免疫学的検査 ・ 小テスト
	22	凝固系検査 1	凝固系検査の意義
	23	凝固系検査 2	凝固系検査の手技を理解し身につける
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	実験動物学	担当教員 (実務経験)	佐藤 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	実験動物の歴史や品種、飼養管理方法、動物実験との関わり合いについて学ぶ。				
到達目標	さまざまな動物の特性と人との関りを理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ6巻 動物行動学／愛玩動物学／比較動物学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。		
	レポート	60%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	実験動物 1	歴史・品種		
	2	実験動物 2	飼育管理法		
	3	実験動物 3	遺伝的、微生物学的、環境コントロール		
	4	演習問題	解答・解説・小テスト		
	5	水族館見学実習	おたる水族館見学		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	野生動物学Ⅱ		担当教員 (実務経験)	佐藤 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物について学ぶ。					
到達目標	さまざまな動物の特性と人との関りを理解する。					
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ6巻 動物行動学／愛玩動物学／比較動物学					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。			
	レポート	60%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	外来動物	外来動物の種類			
	2	絶滅危惧種とレッドリスト 1	絶滅危惧種について			
	3	絶滅危惧種とレッドリスト 2	レッドリストについて			
	4	演習問題	解説・解答・小テスト			
	5	動物園見学実習	旭山動物園			
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	外科動物看護学Ⅱ		担当教員 (実務経験)	前鼻 彰人 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	外科動物看護学Ⅰ、外科動物看護学実習Ⅰで学んだ知識を基に実践に沿った応用力を修得する。				
到達目標	実践能力に応用力を用いて、正確性、迅速性を身につける。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ8巻 動物栄養学／動物外科看護学／動物医療コミュニケーション				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	手術前準備 1	飼い主への指示		
	2	手術前準備 2	術前検査		
	3	手術前準備 3	食止、飲水、排尿管理		
	4	手術前準備 4	痛みの管理		
	5	術中の補助 1	動物看護師として関わる外回り		
	6	術中の補助 2	五感を使ったモニタリング		
	7	術中の補助 3	バイタルチェック		
	8	術中麻酔に関する基礎知識 1	麻酔のモニタリングと機器の知識 ・ 小テスト		
	9	術中麻酔に関する基礎知識 2	麻酔記録		
	10	術後の管理 1	動物の観察と看護		
	11	術後の管理 2	痛みの知識、痛みの観察と管理		
	12	衛生管理 1	包帯法の基礎知識		
	13	衛生管理 2	術創の保護に必要な知識、創傷管理の為の器材 ・ 小テスト		
	14	救命 1	BLS		
15	救命 2	ALS			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	臨床動物看護学総論	担当教員 (実務経験)	佐藤 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	動物の臨床看護に必要な知識の修得。				
到達目標	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個性性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ9巻 動物臨床看護学総論／動物臨床看護学各論				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度が含まれます。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	動物看護過程の展開 1	動物看護過程とは何か		
	2	動物看護過程の展開 2	動物看護過程における5つの構成要素		
	3	動物看護過程の展開 3	アセスメント、動物看護診断		
	4	動物看護過程の展開 4	動物看護計画		
	5	動物看護過程の展開 5	動物看護の実践と動物看護記録		
	6	動物看護過程の展開 6	評価		
	7	事例で考える動物看護過程の実際 1	アセスメント、動物看護診断 ・ 小テスト		
	8	事例で考える動物看護過程の実際 2	動物看護計画		
	9	事例で考える動物看護過程の実際 3	動物看護の実践と動物看護記録		
	10	事例で考える動物看護過程の実際 4	評価		
	11	チーム獣医療	チーム獣医療の在り方		
	12	QOL	生活の質を高めるためには		
	13	ターミナルケア 1	グリーフとペットロス ・ 小テスト		
	14	ターミナルケア 2	ターミナルケアの目的		
15	ターミナルケア 3	ターミナルケアの方法・実践			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	臨床動物看護学Ⅲ	担当教員 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	動物病院で遭遇する代表的な疾患を中心に学び特徴的な症状、検査、看護、予防に重点を置く。				
到達目標	さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ9巻 動物臨床看護学総論／動物臨床看護学各論				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	他の基礎科目、特に動物形態機能学で習ったことが基本となるので常に復習しながら学習します。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	循環器系疾患 1	先天性疾患(心室中隔欠損症、心房中隔欠損症)		
	2	循環器系疾患 2	先天性疾患(動脈管開存症、ファロー四徴症)		
	3	循環器系疾患 3	先天性疾患(肺動脈狭窄症、大動脈狭窄症)		
	4	循環器系疾患 4	先天性疾患(僧帽弁閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症)		
	5	循環器系疾患 5	後天性疾患(心筋症、心不全)		
	6	循環器系疾患 6	その他の後天性疾患		
	7	泌尿器系疾患 1	腎臓病 ・ 小テスト		
	8	泌尿器系疾患 2	尿路感染、尿路結石症		
	9	泌尿器系疾患 3	猫の下部尿路疾患		
	10	泌尿器系疾患 4	膀胱の腫瘍		
	11	繁殖・生殖器系・新生子疾患 1	メスの生殖器疾患		
	12	繁殖・生殖器系・新生子疾患 2	オスの生殖器疾患		
	13	繁殖・生殖器系・新生子疾患 3	新生子疾患 ・ 小テスト		
	14	繁殖・生殖器系・新生子疾患 4	奇形		
15	総合疾患	その他の先天性疾患			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	臨床動物看護学Ⅳ	担当教員 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	動物病院で遭遇する代表的な疾患を中心に学び特徴的な症状、検査、看護、予防に重点を置く。				
到達目標	さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ9巻 動物臨床看護学総論／動物臨床看護学各論				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	他の基礎科目、特に動物形態機能学で習ったことが基本となるので常に復習しながら学習します。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	皮膚科疾患 1	皮膚に生じる代表的な疾患		
	2	皮膚科疾患 2	耳に生じる代表的な疾患		
	3	眼科疾患 1	睫毛、眼瞼に生じる疾患		
	4	眼科疾患 2	眼球、角膜などに生じる疾患		
	5	血液疾患 1	赤血球に生じる代表的な疾患		
	6	血液疾患 2	白血球に生じる代表的な疾患		
	7	内分泌系疾患 1	下垂体、甲状腺、上皮小体に生じる代表的な疾患 ・ 小テスト		
	8	内分泌系疾患 2	膵臓、副腎、生殖腺に生じる代表的な疾患		
	9	感染性・寄生虫疾患	代表的な疾患		
	10	担がん動物	がんの基礎知識		
	11	若齢動物・高齢動物の疾患	代表的な疾患		
	12	リハビリテーション	代表的な化学療法、他		
	13	中毒性疾患	タマネギ、チョコレート、殺鼠剤中毒 ・ 小テスト		
	14	救急 1	救急性疾患①		
15	救急 2	救急性疾患②			